

桐谷文雄先生をしのぶ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-07-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 和男 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025538

桐谷文雄先生をしのぶ

加藤 和 男*

昭和40年春、静岡市の大岩講堂で理学部長として我々第1回理学部学生を迎えて頂きました。

今日の地球科学科と文理学部の地質学科との橋渡しとして地学履習コースを設置され我々に地質学を学ぶ道を残して頂きました。今日我々も期待に答えるようにがんばっております。先生の地質学、特に応用地質学の講義は大変興味深く、地質学の土木面での必要性を教えてくださいました。特にダム建設については、地質学の重要性を提示され、又、ダムの機構について興味を与えて下さいました。なかでも夏の佐久間ダムの見学は思い出深いものでした。時間のかかる飯田線で初めての地、佐久間へ行きましたが先生の御配慮でゆっくり見学ができ、又、佐久間ダム建設当時のお話を聞き、スケールの大きさ、又、工事の難しさなどに対する先生のファイトに胸を打たれました。先生はいつも笑顔が絶えず、心やさしく接して頂きました。また学生との団交などにも誠心誠意尽くされました。丸子の御宅へは時々おじゃまし、北樺太石油、満州鉱業開発の時代の御活躍、苦労話などお聞きしました。国道の丸子バス停から御宅への楽しみは今だに忘れられません。

大学卒業後は、高校生の就職にもお世話を頂き有難うございました。

我々卒業生一同、先生の研究熱心な御姿に負けないよう各方面で精一杯頑張ります。

心より御冥福をお祈り申し上げます。